

歯科医療の新しい展望と明るい未来のために —若い歯科医師のための Oral Physician 育成セミナー開催—

斎藤直之 Naoyuki Saito (山形県開業)

6月12日、山形県酒田市の日吉歯科診療所において、院長の熊谷崇氏による「若い歯科医師のための Oral Physician 育成セミナー」が行われ、47名の若い歯科医師たちが集まりました。

Oral Physician とは、「患者の生涯にわたって齲蝕、歯周病という口腔二大疾患の発症と再発を防ぐため、さまざまなリスクを診査、診断し、処置方法を決定することができる内科的歯科医師」です。また、患者の生涯にわたる口腔の健康について俯瞰的に診ることのできる歯科医師のことで、いままで歯科医師は、DDS：Doctor of Dental Surgery としての治療を中心に考えてきましたが、患者さんの生涯の口腔の健康を守るために Oral Physician という内科的な考え方をもつことが重要になってきています。今回のセミナーは、大学を卒業して間もない若い歯科医師たちにそのことを伝え、自分たちの歯科医師としてのこれからをもう一度考えてもらい、患者利益につながる歯科医療を実践できる歯科医師になってもらいたいという意図で開催されました。

セミナーの内容は以下のとおりです。

- ・ 歯科医療の目標は何か？ その実現のために日吉歯科はこれまで何をしてきたか。
- ・ これまでの歯科医療、日本の過去の古い体質を捨て、これからの歯科医療、世界水準に達した歯科医療を目指さなければならないこと。
- ・ なぜ Oral Physician という考え方が必要か。



- ・ DDS と Oral Physician について。
- ・ 歯科医師として成功を収めるためには何が必要か。
- ・ SAT with ISO9001 とは何か？

今回の若い歯科医師のための Oral Physician 育成セミナーは、一つの始まりです。このセミナーでは、歯科医師として私たちは何を実現しなければならないかを明確にし、Oral Physician という考え方を確認し、Oral Physician として何を実践していくのかを伝えていきます。そして、今後、メディカルトリートメントモデルに基づく歯科医療を実践できる基本的な診療所づくり、次に ISO9001 を診療室のマネジメントシステムとして活かし、歯科医療の目標を確実に達成できる質の高い、発展する診療所づくり (SAT with ISO9001)、そして、それらの診療室によるネットワークづくりと繋がっていきます。それらの活動を通して、人々の生涯にわたる口腔の健康に寄与できる歯科医療を目指すのです。

すなわち、このセミナーでは、「人々が生涯にわたって口腔の健康を維持し、健全な機能を全うすること」が、歯科医療の目標であることを再確認します。それを実現することが真の患者利益を求めた歯科医療であること、そしてそれをどのように実践していけばよいのか、具体的にその方向性を示唆しています。

これまでの DDS という考え方の治療中心の診



療室であれば、歯科医師一人の力量が、ほぼすべてでしたが、Oral Physician という考え方に立った診療室を構築するためには、診療室の総合力が重要になります。セミナーでは、考え方というソフトの面、診療室というハードの面、診療室の中で患者利益を追求した歯科医療を実践していくためのシステムの面を、それぞれどのように考え、構築していかなければならないかを示しています。

その考え方に基づいて日々の歯科医療が実践されている日吉歯科診療所という現場でセミナーを

聞くことで、受講者にとって、歯科医療に対する考え方の転換を図り、新たなスタートを切らなければならぬことを現実の問題として考えることができたのではないかと思います。

受講者は、セミナーを受講し、大きな目標と多くの課題を持ち帰ることになりましたが、筆者は、今回のセミナーがこれからの歯科医療を担う若い歯科医師にとって、歯科医療に対する新しい展望と彼ら自身の明るい未来を切り開く大きな活力になっていくであろうと確信しています。

セミナー受講者の感想

“DDS と “Oral Physician”

“Oral Physician” —— 歯科医師を示す言葉として“DDS”は聞き慣れていても、この言葉を初めて耳にする人も多いと思います。

「破壊された口腔内を治す人：DDS」に加え、「個人のリスクに応じた予防医療を実践できる人：Oral Physician」の必要性というセミナーの主旨に興味を覚え参加した私自身、今回初めてこの言葉の本当の意味を学び、日々の診療を一度立ち止まり考える機会を得ることができました。

セミナーには学生から研修医、勤務医とさまざまな環境にいる歯科医師が集まり、質疑応答の際には、それぞれの立場で抱える問題への改善策や疑問等、多くの質問が出ました。参加者のなかでも、私のような勤務医や、開業医の歯科医師は、点数出来高制の保険制度のなかで予防医療を実践する難しさを特に感じていると思います。同時に精度のよいはずの修復物が再治療に及ぶ現実、患者の希望とはいえ、主訴対応の治療しかできない自分に疑問を感じることはないでしょうか。

このような日々のジレンマは一朝一夕で変えられることではないかもしれませんが、立場や環境が異っても一人ひとりの歯科医師が歯科医療の改善点に目を向け、ひいては歯科医療全体が改善していくことを望みます。私個人としても“DDS”の能力もまだまだ未熟な状態です。“DDS と “Oral Physician” 両方兼ね備えられるよう、日々努力していきたいと思います。

相馬京子 Kyoko Soma (北海道・勤務5年目)

“想い”を形にするのは自分次第

私は単純に、自分の世界観が確立されていて、人に流されず信じた道にエネルギーを費やすタイプの人間が好きです。今回二度目となる熊谷先生のセミナーを受講させていただき、率直に感じたことは、「あ、私のスキなタイプの人間だ!」ということでした。歯科医師としての人生をスタートさせ間もないこの時期にタイミングよく熊谷先生と出会えたことに、ただただ感謝しています。

歯科医師という職業は対人間という仕事のため、やはり人間性が直に仕事に現われると思っています。人柄、器の大きさ、柔軟性、センス……。歯科医師としての立場以前に人としてどうか?! という点です。その人間性としてのオーラを強く感じました。

「想いはいずれ叶う」といいますが、「想い」という言葉の裏には、信じた道を貫き通すエネルギーと、努力の積み重ねがあります。日吉歯科医院はまさに、歯科医業への“想い”を形として生み出された賜物のように感じました。

歯科医師としての人生をこの先どのように歩んでいくか。日々診療を重ね、さまざまな問題にぶちあたり、自分の知識のなさや、技量の乏しさに悩んでいる若き歯科医師たちへ、この先の方向づけへのヒントをいただいた気がします。あとは答えを見つけ出すための努力と勉強の積み重ねです。“想い”を形にするのは自分次第だと思います。

西川香子 Kyoko Nishikawa (神奈川県・勤務2年目)

歯科医師への第一歩を踏み出すときにこそ

今回、私は歯科大学の学生という立場からこのセミナーへ参加させていただきました。現在私は、大学において主に DDS としてのライセンスを取得するために技術および理論を学んでいますが、このセミナーに参加したことで、日本の大学教育がある種閉鎖的な空間で行われている状況にあるということを感じました。

歯科医師はライセンス取得後の己の努力が重要であること、また個人によって診療哲学、理念が異なることは私自身理解しています。しかし、これらのことが自分自身のなかで明確な形になってからその方向性を変更することが容易でないことも、事実だと思います。

このようなことから考えると、歯科大学の学生としての本分をこなすことは当たり前ですが、現在の私のような、歯科医師への第一歩を踏み出したときにこそ、広い世界に目を向け、今回のセミナーやさまざまな講演会等に参加していきながら、将来歯科医師となったときの自分自身の根幹となるべき診療哲学を、自分なりに少しずつでも作りあげていくことが大事なのではないか、と考えます。

それが学生の私にとってできることであり、すべきことなのではないかということを、今回のセミナー参加で認識することができました。

太田貴裕 Takahiro Ota (千葉県・歯学部学生)

Oral Physician に希望が見えた

安直だった。流れにまかせて歯科の道を選んで、学校に入ってからこの業界の抱える矛盾に悩んだ。何回も再治療を繰り返して、やがて患者さんの歯はなくなって、そして自分はメシを食べていくのだと。学校を辞めるかかなり悩んで、悩むのが億劫になって、思考に蓋をした。

そんな頃に熊谷先生の診療を知った。患者さんにとって最も幸せなことは、一生自分の歯で暮らすこと。できるだけ歯科治療を受けないこと。そのために患者さんを管理しながらずっと付き合っていけるような診療スタイルに自分を変えていければ、患者さんも自分たちも幸せになれる。Oral Physician にはそんな希望が見えた。

現在は診療のなかに、教わった内容を盛り込も



うと試行錯誤している。でもそれ以前に、手技がおぼつかない、勉強も苦しい、道のりはまだ 0.1 合目。言うは易し、行うは難し。

木村隆寛 Takahiro Kimura (東京都・勤務 1 年目)

参加者全員の感想文が日吉歯科診療所ホームページ (<http://www.hiyoshi-dental-office.org/>) に掲載されていますので、併せてお読みください。

「Oral Physician」, 「メディカルトリートメント」, 「SAT with ISO9001」についての詳細は、歯界展望 2004 年 8 月号「インタビュー：これからは Oral Physician が患者利益を提供できる」、2005 年 1 月号「歯科構造改革論—成功する歯科医院の条件とは」をご参照ください。

●次回「若い歯科医のための Oral Physician セミナー」

開催日：2005 年 12 月 23 日 (金・祝)

場所：日吉歯科診療所 研修室 (山形県酒田市)

申込先：日吉歯科診療所 (hiyoshiwebteam@hotmail.com)

参加費：無料

※まだ若干の空きがありますのでお早めにお申し込みください。

※第 3 回は、2006 年 12 月 10 日 (日) に開催予定です。詳細につきましては追って本誌にてお知らせいたします。